

農業科（森林科学）学習指導案

- 1 履修単位数 2 単位
- 2 実施日時 令和 5 年〇〇月〇〇日（〇） 第〇時限
- 3 学 級 森林クリエイト科〇年
- 4 使用教科書 森林科学（実教出版）
- 5 単 元 名 第 3 章 森林生態系の構造と多面的機能
- 6 単元設定の理由

（1）教材観

森林は有機物の生産、蓄積、二酸化炭素の吸収や自然環境の維持など地球環境を保全するうえで、大きな役割を果たしている。森林の多面的機能について学習し、SDGs の視点から多面的機能がもたらす地球や地域に対する機能や意義について理解させるため、本単元を設定した。

（2）生徒観

本学級は、活発で明るい雰囲気の子供が多く、授業や実習に多くの生徒が積極的に取り組むことができる。しかし、指示を待つだけの生徒や、指示そのものが通りにくい生徒も見受けられるなど、主体的に判断し、活動できるまでには至っていない。次世代の林業のスペシャリストとして、林業を身近なものとして捉え、学びをより豊かにしていくための知識・技術の習得が必要である。

（3）指導観

本単元を設定するにあたり、ICT を活用し、生徒同士が意見を出し合うことで、考え方の違いから新しい視点で物事をとらえることができるように促し、林業を学習していく上で、森林を多角的な視点で捉え、主体的に課題の解決に取り組むことができるように配慮する。

7 単元の目標

- 森林生態系の構造と多面的機能について理解するとともに、関連する技術を習得させる。
- 森林生態系の構造と多面的機能に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる知識と技術を習得させる。
- 森林生態系の構造と多面的機能について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。

8 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
森林生態系の構造と多面的機能について理解し、SDGs の解決に向けた知識・技術を身に付けることができる。	森林の多面的機能に関する課題を発見し、SDGs と関連付け科学的な根拠などに基づいて創造的に解決できる。	森林の多面的機能について自ら学び、SDGs と関連付け主体的かつ協働的に取り組むことができる。

9 指導計画

- 第 1 節 森林生態系の構造・・・・・・・・・・ 4 時間
- 第 2 節 森林生殖遷移と森林の発達段階・・・・・・・・ 4 時間
- 第 3 節 森林の多面的機能・・・・・・・・・・ 4 時間（4 / 4 本時）

10 本時の目標

○持続可能な社会の実現に向けて、その課題解決に主体的に取り組めるようにするため、森林の多面的機能について理解する。

11 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
導入 (5分)	○前時の内容を振り返る。 ○本時の目標を確認する。	○前時の重要項目を確認させる。 ○本時の目標を理解させる。		
展開 (40分)	○森林の多面的機能とSDG sについて振り返る。 ○グループでSDG sの項目の一つを選択し、自分たちにできる取組の意見を出し合う。	○森林の多面的機能とSDG sを確認させる。 ○森林の多面的機能とSDG sを関づけて考えることができるように丁寧に説明する。	○グループ内で積極的に意見を出し合っている。 【主体的に取り組む態度】	○ワークシート 行動の観察
	グループごとに MetaMoji のノートに意見を出し合う			
	○それぞれのグループの意見を確認し、多様な考えがあることを知る。 ○グループ内の意見の中に、他の項目や森林の機能に関連するものがないかを考える。	○電子黒板にそれぞれのグループの意見を表示し、特徴のある意見を取り上げ紹介する。 ○SDG s の 17 項目と森林の多面的機能とを関連付けて考えられるように丁寧に説明する。	○森林の多面的機能について理解している。 【知識・技術】	○ワークシート 発問
	グループごとに MetaMoji のノートに意見を出し合う			
	○それぞれのグループの意見を確認し、他に関連する項目がないかを考える。	○電子黒板にそれぞれのグループの意見を表示し、多角的なものの見方や発想ができるように説明する。		
まとめ (5分)	○本時の内容の振り返りを行う。	○授業を振り返りワークシートに本時の感想を記入させる。		

※一人一台端末で授業を計画しているが、インターネット環境・端末の状態に応じてグループで1台、もしくは紙媒体での授業に変更の可能性がある。